

## 神道のしきたり

### 拝殿 はいでん

神様を拝礼するために設けられた建物が拝殿であり、古くは「らいでん」とも呼ばれていました。

本殿には御神体を奉安し、拝殿は人々がその神霊に対して祭祀や祈願などを行う施設です。

そのため拝殿は本殿の前に位置し、本殿よりも大規模な建築である場合が多く、神社において最も目につく建物となっています。



本殿と一体になっている拝殿もあり、その場合は神様にお供え物をするための幣殿、


御神酒や神饌をいただく直会殿などの機能を兼ねています。

拝殿の形式は主に、縦拝殿、横拝殿、割拝殿の3つに区別でき、当社の拝殿は横長で平入り様式であるため横拝殿に分類されます。



## 祭典暦 令和6年12月

1	日	10:00	旬祭	本殿
		10:00	旬祭	本殿
10	火	11:00	沖恵美酒神社 月次祭	境内末社
			招福縁日 十日市開催	
20	金	10:00	旬祭	本殿
21	土	10:00	冬至の日祭	本殿
27	金	10:00	煤払祭	本殿
31	火	16:00	大祓式	拝殿前
		18:00	除夜祭	本殿

12/7  手作り市開催

道しるべ



一瞬一刻、一木一草

— 松下 幸之助




えびす宮 総本社  
**西宮神社**



〒662-0974 兵庫県西宮市杜家町1-17  
Tel 0798-33-0321 Fax 0798-33-5355  
<https://nishinomiya-ebisu.com>

Follow Me

 西宮神社 公式 Instagram  
@nishinomiya\_ebisu\_official



令和六年  
十二月行事ご案内



祈祷殿



# 年越大祓

12/31(火) 16:00 齋行

下半期の心身の穢れ、災厄の原因となる諸々の罪・過ちを祓い清め去り、清らかな気持ちで新しき年をお迎えいただくための神事です。

人形に自分の穢れを移し、無病息災を祈ります。当日ご参列いただけない方は、人形に氏名年齢をご記入のうえ十二月三十日までに当社に到着するようご返送下さい。当日神事にてお祓いいたします。

また、人形ご返送の際、千円以上ご志納の方には身体のみ「年越大祓御守」、二千円以上ご志納の方には「年越大祓御守」に加えて家のまもり「年越大祓御幣」をお下がりとしてお届けいたします。



▲年越大祓御幣

是非とも年越大祓を受けられ、心身ともに清々しく新しき年をお迎えいただけますようご案内申し上げます。

※ご参列の方は、当日午後4時までに拝殿前にご参集下さい。



▲年越大祓御守



## 人形によるお祓いの作法



1

人形に氏名と年齢を記入します。



2

右手に人形を持って頭から足先までなめます。



3

人形に息を三度吹きかけ身についた穢れを移すよう祈念します。



# えびす昔かたり

江戸時代の西宮神社の様子を御社用日記を紐解き、紹介致します。

【御社用日記】

元禄7年から現存する西宮神社の神主が代々書き綴ってきた日記で、兵庫県と西宮市の重要文化財に指定されています。

## 解説

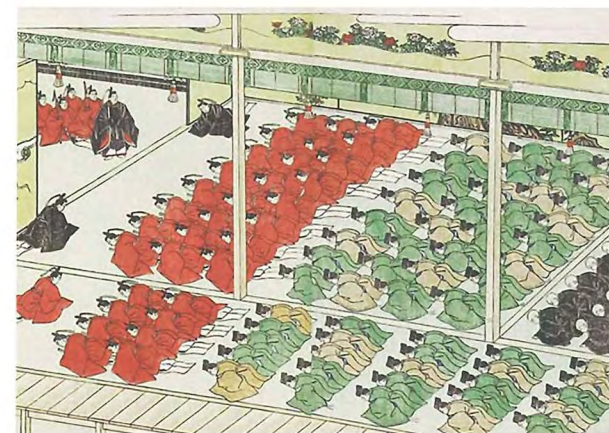
江戸時代、西宮神社の神主は12月の中旬に江戸へ出発するため、お正月・十日えびすの期間不在でした。

これは1月6日に江戸城で将軍のお目見えを受けて正月の挨拶をするためです。

西宮神社の神主は多数の社寺と一同に行うのではなく、伊勢神宮について独礼で行われました。出発にあたり大坂町奉行所や寺社伝奏の白川家などへ届けを行い、江戸へ向かいました。

江戸へ出発するにあたり、同日大坂奉行所へ出向き出発の届けを致しました。翌日京都の白川家へ参上し、出発の届けを申し上げ17日に京都を出発、29日に江戸へ到着しました。

宝永七年(一七一〇)十二月十四日



『徳川盛世録』江戸城大広間で将軍から一同でお目見えを受ける諸大名